

密閉性高く 上下できる「ついたて」

新型コロナウイルスの飛沫感染防止に役立てようと、ロールスクリーン製造の林口工業（津市）が、透明部分を上下にスライドできて密閉性の高いついたてを開発した。

同社は巨大な窓や建物の曲線に対応できる特殊ロールスクリーンを作る日本で唯一の会社で、今回は新幹線の窓に付けた製品技術を応用した。

防災の透明クリア生地 of 両側にファスナーを取り付けることで、密閉性となめらかな動きを実現した。少し開けた状態で止めて、書類の受け渡しもできる。金属製の高級感ある作りで、銀行やホテル、病院などの窓口での利用を想定している。

林口典雄専務(47)は「自立式で自由に開口の高さを固定

津・林口工業が開発

できるロールスクリーンは日本初。広く技術を知ってもらおうチャンスにしたい」と意気込む。

高さ70ㇼ、横幅80ㇼで、横幅は相談の上、変更可能という。スタンド部分の縦幅は25ㇼ。価格は4万9800円（税抜き）。☎同社販売部門「SHY」=059（226）3334

（本間貴子）



透明部分を上下にスライドできる「ついたて」＝津市船頭町津興の林口工業で

2020年10月29日(木)
中日新聞 広域三重に掲載